【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第１区分
【発行日】平成24年5月17日(2012.5.17)

【公開番号】特開2010-260021(P2010-260021A)
【公開日】平成22年11月18日(2010.11.18)
【年通号数】公開・登録公報2010-046
【出願番号】特願2009-114410(P2009-114410)
【国際特許分類】
Ｃ０２Ｆ　1/32　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０２Ｆ　1/32

【手続補正書】
【提出日】平成24年3月22日(2012.3.22)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
一部に開口部が形成された箱状のランプハウスと、
前記ランプハウス内に配置され、紫外線を前記開口部から放射させる紫外線ランプと、
前記開口部の反対側に放射された前記紫外線ランプの紫外線を、前記開口部から放射させるリフレクターと、
前記ランプハウスの開口部に対向する位置に窓部が形成され、該窓部を介して前記紫外線を透過させる紫外線透過性の紫外線透過材を配置し、内部に形成された被処理水が流入出可能な処理部が形成された処理容器と、を具備し、
前記ランプハウスから前記紫外線透過材を介して紫外線の照射を受ける前記処理部は、必要とする紫外線の照度分布に基づいた形状に形成されており、
前記処理部の形状は、前記紫外線の波長の被処理水１ｃｍ当たりの吸光度をＡ、必要とする照度（ｍＷ／ｃｍ^2）をＸ、水面での照度をＹとしたときに、前記処理部に給水された被処理水の水面と対向する前記処理容器までの距離ｄ（ｃｍ）が、
$d \leqq -(1/A)\log_{10}(X/Y)$
の関係を満足することを特徴とする紫外線照射装置。
【請求項２】
前記処理容器に給水させる給水口は、前記処理容器の下方側に設置し、前記処理容器から水処理後に排水される排水口は、前記処理容器の上方側に設置したことを特徴とする請求項１記載の紫外線照射装置。
【請求項３】
前記処理容器の処理部は、前記ランプハウスの開口部側に近い側の面積の大きさに比べて遠い側を狭い面積にしたことを特徴とする請求項１または２に記載の紫外線照射装置。
【請求項４】
前記紫外線ランプは、１８０～４００ｎｍの紫外線を照射するものであることを特徴とする請求項１～３のいずれかに記載の紫外線照射装置。